

線景

モーツァルトは哀しくて
さりげなく哀しくて
去り行く日々のもどかしく
今日という日の夕暮れの暖かさ
彼女は一杯のコーヒーを飲み
静寂に似た騒がしさ
後にして歩み去る

フルートは遙かに昇り
遠ざかってゆく
歩む日々のたゆめさは
明日の夜明けの広がりを
揺れる海原は
苛立ちを溶かし去り
歓喜をも溶かし去り

御前は言うだろうか
倦だるい日々の連なりと
何もない無の広がり
だが御前には見えないのか
忍び寄る熱風の気配が
滴り落ちる涼しい抒情が
ああ、逃げ続けるがいい

(1987.2.11)